

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	スポーツ推進課	
施策	13	スポーツの推進	評価 責任者	壽 俊行	内線 6400
小施策	13-3	スポーツ団体等との連携強化	評価 シート 作成者	吉田 金一	内線 6401

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
スポーツ大会などの企画運営や競技力向上のためには、指導にあたる組織や人材が必要となるため、スポーツを支えるための組織・人材などとの連携を強化する必要がある。		市民へのスポーツの普及・定着化と競技力の向上を目指すため、広域市町、関係機関・団体などとの連携を強化する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
スポーツ団体等		団体の役割を明確にし、市民のスポーツ活動が活発に展開される環境を作る。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単 位	目指す方向	成果点	⇒	成果の要因分析
指標① 市が共催・後援する事業の数	事業	↗	当初値 (H25) 193	R1目標値 240	R6目標値 290
			・公益財団法人盛岡市体育協会、各競技団体、総合型地域スポーツクラブ等の事業数が増加した。	⇒	・盛岡市総合アリーナ(旧アイスアリーナ)等の既存の施設整備が進んだことにより、スポーツをする環境を整備することができた。
			問題点	⇒	問題の要因分析
			・各競技団体や総合型地域スポーツクラブの活動を支援する必要がある。	⇒	・競技団体や総合型地域スポーツクラブの活動に携わるスタッフが高齢化、固定化している。
指標② 総合型地域スポーツクラブの数	団体	↗	当初値 (H25) 5	R1目標値 12	R6目標値 24
			・総合型地域スポーツクラブの事業運営が安定的に行われている。	⇒	・開催する教室や大会について、市の共催により活動場所の利用料軽減等を行ったことが安定的な事業運営につながったと考えられる。
			問題点	⇒	問題の要因分析
			・市民のスポーツ活動機会の拡大に向けた支援を行う総合型地域スポーツクラブの創設に繋がっていない。	⇒	・総合型地域スポーツクラブの創設には時間を要する。 ・総合型地域スポーツクラブの創設に係るノウハウを持っている人材が少ない。

今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<p>★ 盛岡市体育協会や各競技団体、総合型地域スポーツクラブが各教室や大会を開催しやすいようにするため、連携を強化し、情報提供を行っていく。</p>	
<p>★ 地域活性化が図られるよう、総合型地域スポーツクラブの活動状況について継続して周知を行っていくとともに、人材確保に努める。</p>	
<p>★ 総合型地域スポーツクラブの創設に向けた研修会を開催する。</p>	